



安全上のご注意 DC AC

- ・当社製品を安全に使用いただくため、下記の内容を十分にご理解の上、正しくお使いください。
- ・製品の取り付け・配線・運転・保守・点検などをおこなう前には必ずこの「安全上のご注意」を熟読いただき、記載されている注意事項や使い方を守ってください。
- ・当社製品は、「一般産業用機器への組み込み用」として設計・製造された製品です。組み込み用途以外には使用できません。
- ・当社製品は、輸出貿易管理令別表第一の16の項（第84類14項）に該当します。製品を単体あるいは、装置に組み込み、海外に輸出する場合は、経済産業省が定める「キャッチオール規制」に基づく、「インフォーム要件」「客観要件」の検討と併せて、必要な輸出手続の実施をお願いします。
- ・製品を廃棄する場合は、産業廃棄物として処理してください。処理方法については最寄りの自治体の手順に従ってください。

人への危害や機器、財産への損傷を未然に防止するために必要な「安全に関する注意事項」を次の2つのランクに分けて表示しています。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が生じる可能性があります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生する可能性があります。

※【注意】に記載した事項でも状況により重大な結果につながる可能性があります。【危険】に記載した事項と同様に必ず守ってください。

下記に安全に関する注意事項を記載します。

危険

- ・次のような装置・環境へ使用される場合は、十分な安全対策および事前評価を実施していただいた上で、お客さま自身の責任において、ご使用願います。人命に関わる医療機器などの装置、社会的・公共的に重大な影響を及ぼす装置、車載や船舶など振動が加わる環境
- ・配線は正しく確実におこなってください。感電、やけど、火災のおそれがあります。
- ・アースタップやアース線がある場合は確実に接地してください。感電のおそれがあります。
- ・爆発性雰囲気では使用しないでください。火災、けが、やけどのおそれがあります。
- ・活電部が露出した状態で運転をおこなわないでください。感電のおそれがあります。
- ・運転中は回転部に人体や物を接近、接触させないでください。けがや破損のおそれがあります。
- ・運転中に発火、発煙、異臭、異音などの異常が発生した場合は、直ちに電源を切って使用を中止してください。感電、けが、火災のおそれがあります。
- ・運搬の際に落下や転倒などの衝撃を与えないでください。製品故障や性能劣化のおそれがあります。
- ・製品の取扱いは、相応の資格や知識を持つ方が、お客さまの責任のうえでおこなってください。
- ・製品に対する分解、修理、改造はおこなわないでください。感電、けが、火災のおそれがあります。

注意

取り扱いについて

- ・設置、取り付け、接続、配線、移設などの作業は、相応の資格や知識のある方がおこなってください。また、これらの作業は通電状態でおこなわないでください。けが、感電、やけど、火災のおそれがあります。
- ・ファンを手を持つなど、固定させていない状態で動作させないでください。
- ・絶縁抵抗、絶縁耐圧測定の際は、絶対に端子には触れないでください。感電のおそれがあります。
- ・製品の分解や改造はおこなわないでください。機能や性能を保証できないだけでなく、感電、けが、やけど、火災のおそれがあります。

使用上の注意について

- ・装置運転中にファンが停止した場合の装置保護については、装置側で考慮してください。
- ・温度や電圧など、仕様条件を越えた使い方をしないでください。感電、けが、火災、故障、性能劣化のおそれがあります。
- ・ファンに電圧を供給した瞬間、定格電流の数倍の起動電流が流れます。電源容量が不足するとファンが正常に動作しない場合があります。各型番の起動電流の値については、問い合わせしてください。
- ・電源PWMによるファンの速度を制御しないでください。故障のおそれがあります。
- ・装置内に2台以上のファンを使用し、それぞれの風が干渉する位置にある場合には、すべてのファンをできるだけ同時に起動してください。他のファンの風に煽られている状態で起動した場合、故障や正しく起動しないおそれがあります。
- ・コネクタ・プラグコード・リード線の抜き差しは、通電状態でおこなわないでください。抜き差しは電源が切れていることを確認した後、ハウジングを持っておこなってください。感電や破損のおそれがあります。
- ・DCファンのリード線をフレームフック部から外さないでください。リード線が傷つくおそれがあります。
- ・銘板を剥がさないでください。故障、感電のおそれがあります。
- ・DCファンの銘板部分を強く押さないでください。銘板が破れたり、銘板が軸と接触するおそれがあります。
- ・異物や外力などによりファンが正常動作を妨げられると破損のおそれがあります。
- ・電源の ON/OFF をファンのマイナス電源ラインでおこなわないでください。破損のおそれがあります。

取り付けについて

- ・製品の取り付け固定は、製品重量や運転時の振動などを考慮したうえで確実におこなってください。製品や部品の脱落にともなうけがや装置故障のおそれがあります。
- ・取り付け（送風）方向を確認してください。けがや装置故障のおそれがあります。
- ・製品の十分な性能が発揮できるように、通風口の確保と異物の進入を防止する対策を施してください。けがや装置故障のおそれがあります。
- ・ファンをネジなどで固定する場合には、ファンフレームがネジや板金などによって変形しないことを確認のうえ、ご使用ください。ファンフレームが変形した場合には故障や期待した性能が得られないおそれがあります。
- ・ファンをネジで固定する場合には、ネジの締め付けトルクに注意してください。締め付けトルクが推奨値より大きい場合は、ファンの変形、破損のおそれがあります。また、樹脂フレームファンをネジで貫通止めされる際は、必ずリブ付き構造のファンをご使用ください。ネジゆるみ防止のため平座金・バネ座金をご使用ください。各型番の締め付けトルクについては、お問い合わせください。

注意

- ・ファンをセルフタッピングネジで固定する場合、ファンフレームが破損するおそれがあります。
- ・ファンに過度の衝撃が加わると羽根がフレーム面より出っ張る可能性があります。
フィンガーガードなどのカバーおよび板金などに羽根が当たらないことを確認のうえ、ご使用ください。
- ・ファンに過度の衝撃が加わった場合、製品の故障や期待した性能が得られないおそれがあります。過度の衝撃を加えないようにしてください。
- ・リード線の引っ張り、挟みこみなどで、リード線を傷つけたり、無理なストレスをかけないでください。
また、リード線が回転部に接触しないように配線してください。感電や装置故障のおそれがあります。
- ・接続配線の際には、適切な静電気対策を施してください。ファンや装置を故障させるおそれがあります。
- ・回転部に指や物が触れる可能性がある場合は、フィンガーガードなどのカバーを設置してください。けがや装置故障のおそれがあります。
- ・ファンとフィンガーガード、フィルター、板金などを取り付ける際は、羽根と接触しないように正しく取り付けてください。
装置故障のおそれがあります。フィンガーガード、フィルターキットは当社純正のものをご使用ください。
- ・接続配線は正しくおこなってください。装置の故障や製品の誤動作、故障、性能劣化のおそれがあります。

遠心ファンの取り付けについて

- ・ファンは、ネジを使用して固定してください。各型番のネジサイズについては、外形図、またはカタログを参照してください。
- ・取り付け用ネジ深さをこえる長さのネジは使用しないでください。ネジ穴が破損し固定ができなくなるおそれがあります。
各型番の取り付け用ネジ深さについては、外形図、またはカタログを参照してください。
- ・ファンをネジで固定する場合、ネジの締付けトルクに注意してください。締付けトルクが推奨値より大きい場合は、ネジ穴の破損のおそれがあります。
また、ネジゆるみ防止のため平座金・バネ座金をご使用ください。各型番の締付けトルクについては、問い合わせしてください。
- ・ファンとインレットノズル、フィンガーガード、板金などを取り付ける際は、羽根と接触しないように正しく取り付けてください。
装置故障のおそれがあります。インレットノズルは当社純正のものをご使用ください。

使用環境について

- ・次のような環境下では、使用および保管は避けてください。火災、故障、性能劣化の原因となります。
引火性／腐食性ガスの雰囲気中、水や油のかかる環境（防水ファン・防油ファンを除く）、粉塵や湿気の多い環境、結露が発生する環境、放射線や直射日光が当たる場所、塩分を含む潮風や海水の当たる環境、硫黄成分を含む温泉や火山灰、有機溶剤、酸・アルカリ性薬品などの腐食性物質、核燃料物質などの有害物質などにより、製品が汚染される可能性のある環境下
- ・次のような環境下では、使用および保管は避けてください。製品の故障や性能劣化のおそれがあります。
継続的な振動、強い衝撃、遠心力、加速度が加わる場所（耐Gファンを除く）、磁界が強い場所、輻射による電磁ノイズの強い場所、ファン電源ラインに電磁ノイズが重畳する環境、急激に変化するような環境下（温度変化、湿度変化など）

保守点検について



- ・保守点検の作業は、相応の資格や知識のある方がおこなってください。感電、けが、やけど、火災のおそれがあります。
- ・保守点検は、運転を停止した状態でおこなってください。運転停止直後は羽根が回転していますので、回転部の停止を確認してから作業をおこなってください。
けがのおそれがあります。
- ・製品の清掃にガソリン、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。製品の変形や性能劣化のおそれがあります。

安全上のご注意

Boxタイプ

- ・当社製品を安全に使用いただくため、「安全上のご注意」の内容を十分にご理解の上、正しくお使いください。
- ・製品の取り付け・配線・運転・保守・点検などをおこなう前には必ずこの「安全上のご注意」を熟読いただき、記載されている注意事項や使い方を守ってください。
- ・当社製品は、「一般産業用機器への組み込み用」として設計製造された製品です。組み込み用途以外にはご使用になれません。
- ・当社製品は、輸出貿易管理令別表第一の16の項（第85類43項）に該当します。製品を単体あるいは、装置に組み込み、海外に輸出する場合は、経済産業省が定める「キャッチオール規制」に基づく、「インフォーム要件」「客観要件」の検討と併せて、必要な輸出手続の実施をお願いします。
- ・製品を廃棄する場合は、産業廃棄物として処理してください。処理方法については最寄りの自治体の手順に従ってください。
- ・車載や船舶など振動が加わる環境で使用される場合は、十分な安全対策、および事前評価を実施していただいた上で、お客さま自身の責任において、ご使用願います。「安全上のご注意」の内容についてご了解いただき、正しくお使いください。

人への危害や機器、財産への損傷を未然に防止するために必要な「安全に関する注意事項」を次の2つのランクに分けて表示しています。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が生じる可能性があります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生する可能性があります。

※ [注意]に記載した事項でも状況により重大な結果につながる可能性があります。[危険]に記載した事項と同様に必ず守ってください。

危険

- ・人命に関わる医療機器などの装置へ使用される場合は、十分な安全対策および事前評価を実施して頂いた上で、お客さま自身の責任において、ご使用願います。
- ・社会的・公共的に重大な影響を及ぼす装置へ使用される場合は、十分な安全対策および事前評価を実施して頂いた上で、お客さま自身の責任において、ご使用願います。
- ・本製品は、車載、船舶用途を想定した設計になっておりません。車載や船舶など振動が加わる環境で使用される場合は、十分な安全対策および事前評価を実施していただいた上で、お客さま自身の責任において、ご使用願います。
- ・配線は正しく確実におこなってください。感電、やけど、火災のおそれがあります。
- ・爆発性雰囲気では使用しないでください。火災、けが、やけどのおそれがあります。
- ・活電部が露出した状態で運転をおこなわないでください。感電のおそれがあります。
- ・運転中に発火、発煙、異臭、異音などの異常が発生した場合は、直ちに電源を切って使用を中止してください。感電、けが、火災のおそれがあります。
- ・運搬の際に落下や転倒などの衝撃を与えないでください。製品故障のおそれがあります。
- ・製品の取扱いは、相応の資格や知識を持つ方が、お客さまの責任のうえでおこなってください。
- ・製品に対する分解、修理、改造はおこなわないでください。感電、けが、火災のおそれがあります。

注意

取り扱いについて

- ・設置、取り付け、接続、配線、移設などの作業は、相応の資格や知識のある方がおこなってください。また、これらの作業は通電状態でおこなわないでください。けが、感電、やけど、火災のおそれがあります。
- ・絶縁抵抗、絶縁耐圧測定の際は、絶対に端子には触れないでください。感電のおそれがあります。
- ・製品の分解や改造はおこなわないでください。機能や性能を保証できないだけでなく、感電、けが、やけど、火災のおそれがあります。

使用上の注意について

- ・装置運転中に本製品が停止した場合の装置保護については、装置側で考慮してください。
- ・温度や電圧など、仕様条件を越えた使い方をしないでください。感電、けが、火災、故障、性能劣化のおそれがあります。
- ・銘板を剥がしたり、後日銘板が確認できなくなるような装置への組み込みはおこなわないでください。誤った使い方の原因となり、火災のおそれがあります。
- ・電源の ON/OFFを製品のマイナス電源ラインでおこなわないでください。製品故障のおそれがあります。
- ・製品を操作する際に部品に過度な力を加えないでください。製品故障のおそれがあります。
- ・お客さまが本製品を車輛または船舶に組み込んで使用する場合、ファンの車載または船載環境に起因する不具合に対して当社は責任を負わないものとします。

取り付けについて

- ・製品の取り付け固定は、製品質量を考慮したうえで確実におこなってください。製品や部品の脱落にともなうけがや装置故障のおそれがあります。
- ・製品の取り付け、取り外しは無配線の状態でおこなってください。
- ・ねじで固定する場合には、ねじの締付けトルクに注意してください。締付けトルクが推奨値より大きい場合は、製品の変形、破損のおそれがあります。
- ・接続配線の際には、適切な静電気対策を施してください。本製品や装置を故障させるおそれがあります。
- ・接続配線は正しくおこなってください。装置の故障や製品の誤動作、故障のおそれがあります。
- ・配線の活電部は絶縁カバー等で覆い、配線同士がショートしないよう注意してください。装置の故障や製品の誤動作、故障のおそれがあります。

使用環境について

- ・引火性・腐食性ガスの雰囲気、水や油のかかる環境、粉塵や湿気の多い環境、結露が発生する環境、放射線や直射日光が当たる場所、塩分を含む潮風や海水の当たる環境、硫黄成分を含む温泉や火山灰、有機溶剤、酸・アルカリ性薬品などの腐食性物質、核燃料物質などの有害物質などにより、製品が汚染される可能性のある環境下では、使用および保管は避けてください。火災、故障、性能劣化の原因となります。
- ・継続的な振動や強い衝撃が加わる場所、磁界が強い場所、輻射による電磁ノイズの強い場所、電源ラインに電磁ノイズが重畳する環境での使用および保管は避けてください。製品の故障のおそれがあります。
- ・急激に変化するような環境下（温度変化、湿度変化など）での使用および保管は避けてください。製品の故障のおそれがあります。



保守点検について

- ・保守、点検の作業は、相応の資格や知識のある方がおこなってください。感電、けが、やけど、火災のおそれがあります。
- ・保守点検は、電源を切った状態でおこなってください。感電、けが、やけど、火災のおそれがあります。
- ・製品の清掃にガソリン、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。製品の変形や性能劣化のおそれがあります。

基板タイプ

- ・当社製品を安全に使用いただくため、「安全上のご注意」の内容を十分にご理解の上、正しくお使いください。
- ・製品の取り付け・配線・運転・保守・点検などをおこなう前には必ずこの「安全上のご注意」を熟読いただき、記載されている注意事項や使い方を守ってください。
- ・当社製品は、「一般産業用機器への組み込み用」として設計製造された製品です。組み込み用途以外にはご使用になれません。
- ・当社製品は、輸出貿易管理令別表第一の16の項（第85類43項）に該当します。製品を単体あるいは、装置に組み込み、海外に輸出する場合は、経済産業省が定める「キャッチオール規制」に基づき、「インフォーム要件」「客観要件」の検討と併せて、必要な輸出手続の実施をお願いします。
- ・製品を廃棄する場合は、産業廃棄物として処理してください。処理方法については最寄りの自治体の手順に従ってください。
- ・車載や船舶など振動が加わる環境で使用される場合は、十分な安全対策、および事前評価を実施していただいた上で、お客さま自身の責任において、ご使用願います。『安全上のご注意』の内容についてご了解いただき、正しくお使いください。

人への危害や機器、財産への損傷を未然に防止するために必要な「安全に関する注意事項」を次の2つのランクに分けて表示しています。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が生じる可能性があります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生する可能性があります。

* [注意]に記載した事項でも状況により重大な結果につながる可能性があります。[危険]に記載した事項と同様に必ず守ってください。

危険

- ・人命に関わる医療機器などの装置へ使用される場合は、十分な安全対策および事前評価を実施して頂いた上で、お客さま自身の責任において、ご使用願います。
- ・社会的・公共的に重大な影響を及ぼす装置へ使用される場合は、十分な安全対策および事前評価を実施して頂いた上で、お客さま自身の責任において、ご使用願います。
- ・本製品は、車載、船舶用途を想定した設計になっておりません。車載や船舶など振動が加わる環境で使用される場合は、十分な安全対策および事前評価を実施していただいた上で、お客さま自身の責任において、ご使用願います。
- ・配線は正しく確実におこなってください。感電、やけど、火災のおそれがあります。
- ・爆発性雰囲気では使用しないでください。火災、けが、やけどのおそれがあります。
- ・本製品は装置内に組み込んでご使用ください。感電、やけどのおそれがあります。
- ・通電時は製品に触れないでください。感電、やけどのおそれがあります。
- ・運転中に発火、発煙、異臭、異音などの異常が発生した場合は、直ちに電源を切って使用を中止してください。感電、けが、火災のおそれがあります。
- ・運搬の際に落下や転倒などの衝撃を与えないでください。製品故障のおそれがあります。
- ・製品の取扱いは、相応の資格や知識を持つ方が、お客さまの責任のうえでおこなってください。
- ・製品に対する分解、修理、改造はおこなわないでください。感電、けが、火災のおそれがあります。

注意

取り扱いについて

- ・本製品に触れる前に、金属に触り身体の静電気を取り除いてください。また、静電気の帯びやすい梱包材などにくるまないのでください。静電気は製品故障の原因となります。
- ・製品上の部品、はんだの突起部には触れないでください。けがのおそれがあります。
- ・設置、取り付け、接続、配線、移設などの作業は、相応の資格や知識のある方がおこなってください。また、これらの作業は通電状態でおこなわないでください。けが、感電、やけど、火災のおそれがあります。
- ・絶縁抵抗、絶縁耐圧測定の際は、絶対に端子には触れないでください。感電のおそれがあります。
- ・製品の分解や改造はおこなわないでください。機能や性能を保証できないだけでなく、感電、けが、やけど、火災のおそれがあります。

使用上の注意について

- ・通電中や電源切断後しばらくの間は製品が高温になりますので触れないでください。やけどのおそれがあります。
- ・装置運転中に本製品が停止した場合の装置保護については、装置側で考慮してください。
- ・温度や電圧など、仕様条件を越えた使い方をしないでください。感電、けが、火災、故障、性能劣化のおそれがあります。
- ・鉛板を剥がしたり、後日鉛板が確認できなくなるような装置への組み込みはおこなわないでください。誤った使い方の原因となり、火災のおそれがあります。
- ・電源の ON/OFFを製品のマイナス電源ラインでおこなわないでください。製品故障のおそれがあります。
- ・製品を操作する際に部品に過度な力を加えないでください。製品故障のおそれがあります。
- ・お客様が本製品を車載または船舶に組み込んで使用する場合、ファンの車載または船舶環境に起因する不具合に対して当社は責任を負わないものとします。

取り付けについて

- ・製品の取り付け固定は、製品質量を考慮したうえで確実におこなってください。製品や部品の脱落にともなうけがや装置故障のおそれがあります。
- ・製品の取り付け、取り外しは無配線の状態でおこなってください。
- ・ねじで固定する場合には、ねじの締付けトルクに注意してください。締付けトルクが推奨値より大きい場合は、製品の変形、破損のおそれがあります。
- ・接続配線の際には、適切な静電気対策を施してください。本製品や装置を故障させるおそれがあります。
- ・接続配線は正しくおこなってください。装置の故障や製品の誤動作、故障のおそれがあります。
- ・配線同士がショートしないよう注意してください。装置の故障や製品の誤動作、故障のおそれがあります。

使用環境について

- ・引火性・腐食性ガスの雰囲気中、水や油のかかる環境、粉塵や湿気の多い環境、結露が発生する環境、放射線や直射日光が当たる場所、塩分を含む潮風や海水の当たる環境、硫黄成分を含む温泉や火山灰、有機溶剤、酸・アルカリ性薬品などの腐食性物質、核燃料物質などの有害物質などにより、製品が汚染される可能性のある環境下では、使用および保管は避けてください。火災、故障、性能劣化の原因となります。
- ・継続的な振動や強い衝撃が加わる場所、磁界が強い場所、輻射による電磁ノイズの強い場所、電源ラインに電磁ノイズが重畳する環境での使用および保管は避けてください。製品の故障のおそれがあります。
- ・急激に変化するような環境下（温度変化、湿度変化など）での使用および保管は避けてください。製品の故障のおそれがあります。



保守点検について


- ・保守、点検の作業は、相応の資格や知識のある方がおこなってください。感電、けが、やけど、火災のおそれがあります。
- ・保守点検は、電源を切った状態でおこなってください。感電、けが、やけど、火災のおそれがあります。
- ・製品の清掃にガソリン、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。製品の変形や性能劣化のおそれがあります。

安全上のご注意



機器の知識、安全の情報、注意事項について熟知してからご使用ください。
人への危害、物的損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

警告表示

 警告	取り扱いを誤った場合、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。
 注意	取り扱いを誤った場合、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、および物的損傷のみの発生が想定される場合。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

禁止、強制の絵表示

	禁止（してはいけないこと）を示します。
	強制（必ずしなければならないこと）を示します。

警告

使用上の注意

- ・爆発性、引火性および腐食性ガスの雰囲気、水および油のかかる環境や可燃物の近くでは、絶対に使用しないでください。感電、けが、火災、故障、破損のおそれがあります。
- ・本機器を測定物と接続する作業や、測定準備のため移動させるなどの場合は、通電状態でおこなわないでください。必ず主電源を遮断しAC電源ケーブルを抜いて、POWER ランプの消灯を確認した後に、作業をおこなってください。感電のおそれがあります。
- ・ぬれた手で本機器を使用しないでください。感電のおそれがあります。
- ・絶対に分解したり修理、改造をおこなわないでください。感電、けが、火災、故障、破損のおそれがあります。
- ・AC電源ケーブルを傷つけたりしないでください。感電、けが、火災、故障、破損のおそれがあります。
- ・本機器より異常音、異常な臭い、煙などが発生した場合や本機器内に水などの液体が混入した場合は、速やかに主電源を切り、電源プラグを抜いてください。感電、けが、火災、故障、破損のおそれがあります。
- ・ご使用前に必ず取扱説明書を読んでいただき、その指示に従って正しくお使いください。誤った使い方をされると、感電、けが、火災、故障、破損のおそれがあります。
- ・AC電源ケーブルが付属している場合、必ず付属のAC電源ケーブルを使用してください。不適切なAC電源ケーブルを使用すると、感電、けが、火災、故障、破損のおそれがあります。
- ・AC電源ケーブルが付属していない場合、取扱説明書の「9.2 仕様」を満足する適切な定格のAC電源ケーブルを選定してください。不適切なAC電源ケーブルを使用すると、感電、けが、火災、故障、破損のおそれがあります。
- ・本機器の電源を入れる前に接地機能を備えた電源コンセントに接続し、必ず本機器を接地してください。接地が不十分な場合、感電、けが、火災、故障、破損のおそれがあります。

注意

使用上の注意

- ・「塩害が発生する可能性のある地域」や「海水の影響を受ける可能性のある地域」では、使用しないでください。塩害による故障、破損のおそれがあります。
- ・本機器は、内部に電源を内蔵しているため表面温度が高くなる部位がありますので、ご注意ください。火傷のおそれがあります。
- ・本機器を、使用範囲外で使用しないでください。感電、けが、火災、故障、破損のおそれがあります。
- ・故障、破損および焼損した本機器は、使用しないでください。感電、けが、火災のおそれがあります。
- ・使用しない時は、主電源をOFFにして、AC電源コードを抜いてください。感電、けが、火災、故障、破損の原因となります。

運搬

- ・製品の過積載は、荷崩れの原因となりますので外箱の表示に従ってください。けが、破損のおそれがあります。
- ・運搬時は、転倒すると危険ですので十分ご注意ください。けがのおそれがあります。
- ・本機器の質量は大きいので、取り扱いの際に十分注意してください。腰痛など、けがのおそれがあります。

取り扱い

- ・本機器に無理なストレスをかけたり、本機器上に重いものを載せたり、上にのったりしないでください。破損、故障、感電、けがのおそれがあります。
- ・本機器は、持運びハンドルを持って運搬してください。けが、故障、破損のおそれがあります。
- ・本機器を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。故障、破損の原因となります。
- ・本機器を接続ダクトが付いた状態や三脚等が付いた状態で移動する場合、落下、転倒させないように注意してください。けが、故障、破損のおそれがあります。
- ・使用方向を守ってください。故障、破損のおそれがあります。
- ・吸排気口から異物が入らないようにしてください。けが、故障、破損のおそれがあります。
- ・60℃以下の不燃物に取り付けてください。火災、故障、破損のおそれがあります。

電源ケーブル接続

- ・AC電源ケーブルの接続は、取扱説明書に従って正しく確実におこなってください。感電、けが、火災、故障、破損のおそれがあります。

操作・運転

- ・極端な入力電源電圧の変動下での使用は、動作が不安定になる可能性があります。決しておこなわないでください。感電、けが、火災、故障、破損のおそれがあります。
- ・運転中は補助ファンが回転します。吸気、排気口から異物が入らないように注意してください。
また、排気側から指を入れないように注意してください。けが、火災、故障、破損のおそれがあります。

保守・点検

- ・本機器に使用している部品（ファンモータ、ガスケット、電解コンデンサ、センサー、LED、スイッチ類）には、経年劣化があります。予防保全、測定精度の維持のため、推奨点検年数を目安に保守・点検をおこなってください。保守・点検および修理は、当社までご連絡ください。お客さまでの分解はおこなわないでください。分解すると、動作不良、感電、けが、火災、故障、破損の原因となります。

⊘ 禁止

取り扱い

- ・ダクトに鋭利な物をあてないでください。ダクトの生地が破れるおそれがあります。

操作・運転

- ・入力電圧範囲を超える過電圧が印加された場合、感電、けが、火災、故障、破損のおそれがあります。絶対に仕様を超える電圧での使用はしないでください。
- ・付属の通信用ケーブルに静電気、高電圧などを印加しないでください。故障、破損の原因になります。
- ・本機器には3極-2極変換アダプタは使用しないでください。感電、けが、火災、故障、破損のおそれがあります。

保管

- ・雨や水滴のかかる場所、有害なガスや液体のある場所では、保管しないでください。故障、破損の原因になります。

保守・点検

- ・分解点検および修理をおこなわないでください。感電、けが、火災、故障、破損の原因になります。
- ・絶縁抵抗、絶縁耐圧の測定は、おこなわないでください。故障、破損のおそれがあります。
- ・主電源がONの状態AC電源ケーブルを抜き差し（活線挿抜）すると、発生するサージ電圧によって、電子部品が故障、破損するおそれがありますので、絶対におこなわないでください。感電、けが、火災のおそれがあります。
- ・銘板を取り外さないでください。本製品の識別ができなくなり、製品保証ができなくなります。
- ・シンナー・ベンジン等の溶剤で本機器を拭かないでください。変形、変質、変色、故障、破損するおそれがあります。

! 強制

操作・運転

- ・異常が発生した場合は、直ちに運転を停止してください。感電、けが、火災、故障、破損のおそれがあります。
- ・異常時に備え、主電源をいつでも“OFF”にできる状態を確保してください。主電源を“OFF”に出来ない場合、感電、けが、火災、故障、破損のおそれがあります。
- ・エラー発生時は、原因を取り除き、安全を確保してから再開してください。
- ・決められた温度、湿度範囲内でご使用ください。故障、破損の原因になります。
温度0℃～40℃ / 湿度20～85%RH（結露なきこと）
- ・感電、けが、火災、故障、破損の防止のため、AC電源ケーブルが付属している場合は、必ず付属のAC電源ケーブルを使用してください。
- ・感電、けが、火災、故障、破損の防止のため、AC電源ケーブルが付属していない場合は、取扱説明書の「9.2 仕様」を満足する適切な定格のAC電源ケーブルを選定してください。
- ・感電、けが、火災、故障、破損の防止のため、本機器の電源を入れる前に接地機能を備えた電源コンセントに接続し、必ず本機器を接地してください。

保管

- ・直射日光の当たる環境、高温多湿の環境下で保管しないでください。故障の原因になります。保管する際は、直射日光を避けた常温・常湿環境下で保管してください。
- ・本機器の保管が長期間に渡った場合は、当社までお問い合わせください。長期間の保管により部品が劣化し、メンテナンスが必要となる可能性があります。

廃棄

- ・本機器を廃棄する場合は、産業廃棄物として処理してください。